

目次

1. 工作機械統計・産業動向

- ◆米国工作機械受注統計(2月) 1
- ◆米国工作機械受注統計(地域別) 2
- ◆米国の工作機械輸出入統計(2010年) 3
- ◆中国工作機械輸出入統計(2010年) 4

2. 主要国・地域経済動向

- ◆米国：製造業設備稼働率は増加(2月) 5
- ◆米国：FEIMAFE2011でAMT/USAパビリオンが先端技術を披露 5
- ◆米国：IMTS、全米2位の展示会にランクされる 5
- ◆米国：2010年の産業用レーザ出荷高37%増加 6
- ◆米国：製造業部門、19ヵ月連続で成長(3月) 6
- ◆ハノーバーメッセ開幕－原発事故で「再可エネへの転換」に関心集まる 7
- ◆独機械業界、2011年生産成長率を上方修正 7
- ◆ドイツ：ドイツ製造設備メーカー、ロシアに注目 8
- ◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(3月) 8

3. 工作機械関連企業動向

- ◆米国：大幅に改善したHurco社の2011年度第1四半期決算 9

4. その他

- ◆ユーザー関連トピックス 9

5. 日工会外需状況(3月) 12

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(2月)

AMT(米国製造技術工業協会)及びAMTDA(米国工作機械販売協会)発表の受注統計(USMTC)によると、2011年2月の米国切削型工作機械受注は、3億412万ドルで前月比10.5%減、前年同月比93.6%増となった。

AMTのWoods専務理事は「対前年同期比の大幅な増加は、製造業の復興が起きていることを強調することとなった。2月は日数が短いので前月より若干の減少が見込まれていた。しかし対前年同月より大幅に伸びたことから、2011年は産業が好調な年になるという私たちの予測を裏付けることとなった。」

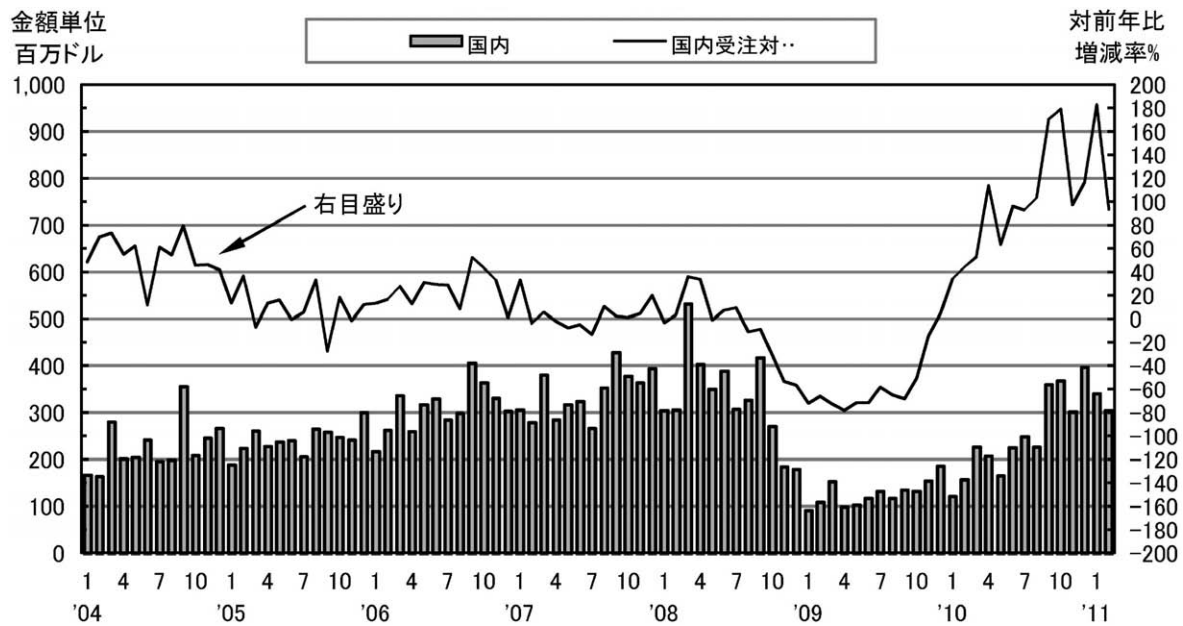
(USMTCレポート 4月11日付)

米国工作機械(切削型)受注統計

(金額単位：千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2010年1月	790	120,772
2月	907	157,066
3月	1,270	225,813
4月	1,235	206,342
5月	1,134	164,681
6月	1,381	224,492
7月	1,345	248,936
8月	1,330	226,762
9月	1,857	359,377
10月	1,953	368,018
11月	1,870	301,069
12月	2,098	396,915
2010年累計	17,170	3,000,243
2011年1月	1,831	339,722
2月	1,657	304,118
2011年累計	3,488	643,840

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地域別		2011年2月 (P)	2011年1月	前月比 (%)	前年同月	前年同月比 (%)	2011年累計 (P)	2010年累計 (R)	前年同期比 (%)
全米	切削型	304.12	339.72	-10.5	157.07	93.6	643.84	277.36	132.1
	成形型	25.32	30.00	-15.6	8.24	207.2	55.32	16.29	239.5
	計	329.43	369.72	-10.9	165.31	99.3	699.16	293.65	138.1
北東部	切削型	52.45	47.80	9.7	25.06	109.2	100.24	49.49	102.5
	成形型	2.72	2.07	31.5	1.92	41.7	4.78	3.06	56.1
	計	55.16	49.86	10.6	26.98	104.4	105.03	25.57	310.7
南部	切削型	31.18	50.76	-38.6	18.98	64.3	81.94	44.84	82.7
	成形型	3.17	2.90	9.3	0.86	267.3	6.06	2.51	141.4
	計	34.35	53.66	-36.0	19.84	73.1	88.01	47.35	85.8
中西部	切削型	101.53	102.21	-0.7	40.91	148.2	203.74	76.61	165.9
	成形型	11.37	10.27	10.8	2.32	390.4	21.63	4.23	411.6
	計	112.90	112.47	0.4	43.23	161.2	225.38	80.84	178.8
中部	切削型	91.95	101.17	-9.1	48.83	88.3	193.12	71.99	168.3
	成形型	5.55	8.74	-36.5	2.94	89.0	14.29	5.82	145.3
	計	97.49	109.91	-11.3	51.77	88.3	207.40	77.81	166.5
西部	切削型	27.01	37.79	-28.5	23.28	16.0	64.80	34.43	88.2
	成形型	2.52	6.03	-58.3	0.21	*	8.55	0.66	*
	計	29.52	43.82	-32.6	23.48	25.7	73.34	35.09	109.0

P：暫定値 R：改定値 *：1000%以上
四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。
出所：USMTC

◆米国の工作機械輸出入統計(2010年)

(単位：金額千ドル、台数：台)

機 種 名	輸 出		輸 入	
	台 数	金 額	台 数	金 額
特殊加工機	8,452	390,803	24,691	286,319
内、レーザー加工機	4,819	214,839	1,733	173,674
内、超音波加工機	400	14,537	30	890
内、放電加工機	616	53,356	1,125	81,551
内、その他	2,617	108,071	21,803	30,204
マシニングセンタ	3,904	288,611	3,343	553,214
立軸 Y軸移動量 660mm未満	873	90,568	1,754	158,681
Y軸移動量 660mm超	2,653	128,253	415	84,932
横軸 ATC	21	4,946	897	229,799
その他	357	64,844	277	79,802
ステーション型専用機	139	43,164	194	61,506
旋盤	1,399	83,625	6,413	583,534
NC横軸	465	56,186	3,826	460,188
多軸	52	8,812	566	114,049
単軸/出力 18.65kW未満	283	27,394	2,383	203,571
出力 18.65-37.3kW	79	9,853	739	105,202
出力 37.3kW超	51	10,127	138	37,366
非NC横形	335	7,059	1,776	31,062
NC立旋盤	161	14,702	283	81,748
立タレット旋盤（その他）	5	978	167	49,952
立タレット旋盤（多軸）	2	145	19	4,796
その他（多軸）	0	0	6	98
その他（その他）	154	13,579	91	26,903
非NCその他	438	5,677	528	10,536
ボール盤	1,352	58,161	458	32,846
中ぐりフライス盤	130	12,157	593	69,990
中ぐり盤	304	6,426	253	8,932
フライス盤	558	37,736	2,465	78,338
ねじ切り盤またはねじ立て盤	810	3,842	176	10,291
研削盤または仕上げ機械	2,036	107,223	3,343	186,960
平面研削盤	120	8,728	817	24,931
内、NC平面研削盤	33	4,467	121	13,008
その他の研削盤	366	53,849	774	104,149
工具研削盤	65	3,358	724	22,495
ホーニング盤またはラッピング盤	572	20,324	150	15,794
他に分類されない研削盤または仕上げ機械	913	20,963	878	19,590
その他の工作機械	2,055	80,219	2,728	125,120
平削り盤	31	2,500	57	501,041
形削り盤または立削り盤	442	7,026	358	12,562
ブローチ盤	75	3,756	42	2,194
歯切り盤	246	44,129	308	63,184
金切り盤または切断機	1,243	23,784	1,963	46,679
他に分類されないもの				
合 計	225,882	1,373,909	1,166,834	2,155,093

出所：米商務省

備考：データは単価3,025ドル以上の機械（中古・再生品を除く）を対象。

◆中国工作機械輸出入統計(2010年)

中国工作機械国別輸出統計(2010年)

(単位：千USドル)

No.	国 別	金属切削型&成形型合計			金属切削型合計			金属成形型合計		
		金 額	前年比(%)	シェア(%)	金 額	前年比(%)	シェア(%)	金 額	前年比(%)	シェア(%)
	合 計	1,852,979	31.26	100.00	1,283,517	34.51	100.00	569,463	24.48	100.00
1	米 国	142,810	9.66	7.71	126,086	12.68	9.82	16,724	-8.82	2.94
2	イ ン ド	137,691	56.47	7.43	78,601	65.32	6.12	59,090	46.08	10.38
3	ブ ラ ジ ル	107,951	83.87	5.83	75,275	98.15	5.86	32,677	57.69	5.74
4	日 本	100,102	106.35	5.40	89,500	158.96	6.97	10,602	-24.00	1.86
5	ド イ ツ	83,049	24.10	4.48	72,527	24.39	5.65	10,522	22.11	1.85
6	ミャンマー	78,337	89.34	4.23	55,326	165.27	4.31	23,011	12.16	4.04
7	ベ ト ナ ム	64,974	2.31	3.51	32,861	17.01	2.56	32,113	-9.35	5.64
8	ロ シ ア	60,697	83.55	3.28	41,515	82.22	3.23	19,181	86.49	3.37
9	インドネシア	58,287	49.00	3.15	33,647	71.49	2.62	24,641	26.37	4.33
10	タ イ	56,300	58.50	3.04	35,961	71.96	2.80	20,339	39.23	3.57
11	イ ラ ン	52,046	53.34	2.81	32,895	37.89	2.56	19,152	89.89	3.36
12	韓 国	51,254	-26.90	2.77	37,594	-37.22	2.93	13,659	33.39	2.40
13	香 港	46,137	41.53	2.49	36,025	37.12	2.81	10,112	59.89	1.78
14	マレーシア	44,845	4.34	2.42	22,009	9.45	1.71	22,836	-0.15	4.01
15	オーストラリア	39,803	5.76	2.15	24,501	-0.28	1.91	15,302	17.12	2.69
16	イ タ リ ア	37,212	33.71	2.01	25,394	32.34	1.98	11,817	36.77	2.08
17	メ キ シ コ	36,677	19.79	1.98	32,160	51.15	2.51	4,517	-51.65	0.79
18	ト ル コ	35,858	52.65	1.94	23,292	38.32	1.81	12,566	88.92	2.21
19	アルゼンチン	32,596	87.41	1.76	16,639	48.29	1.30	15,956	158.55	2.80
20	台 湾	31,501	86.38	1.70	24,291	93.72	1.89	7,210	65.29	1.27
	そ の 他	554,853		29.94	367,417		28.63	187,436		32.91

出所：CMTBA 数字は全て原文のまま掲載。

中国工作機械国別輸入統計(2010年)

(単位：千USドル)

No.	国 別	金属切削型&成形型合計			金属切削型合計			金属成形型合計		
		金 額	前年比(%)	シェア(%)	金 額	前年比(%)	シェア(%)	金 額	前年比(%)	シェア(%)
	合 計	9,424,386	59.82	100.00	7,518,466	64.92	100.00	1,905,920	42.44	100.00
1	日 本	3,570,765	123.57	37.89	3,089,564	148.53	41.09	481,201	35.92	25.25
2	ド イ ツ	1,975,457	20.55	20.96	1,517,766	15.42	20.19	457,691	41.37	24.01
3	台 湾	1,281,670	97.48	13.60	968,639	102.67	12.88	313,031	82.99	16.42
4	韓 国	714,399	44.77	7.58	509,900	43.43	6.78	204,499	48.21	10.73
5	イ タ リ ア	494,934	12.34	5.25	350,565	3.79	4.66	144,370	40.45	7.57
6	英 国	372,766	65.17	3.96	274,498	67.26	3.65	98,268	59.61	5.16
7	ス イ ス	308,260	19.17	3.27	283,494	22.95	3.77	24,765	-11.86	1.30
8	シンガポール	93,083	224.68	0.99	88,306	243.64	1.17	4,777	60.74	0.25
9	ス ペ イ ン	79,342	-3.90	0.84	57,234	-20.22	0.76	22,108	104.31	1.16
10	オーストリア	71,058	-33.82	0.75	54,521	-35.21	0.73	16,536	-28.76	0.87
11	フ ラ ン ス	69,595	-16.28	0.74	57,887	4.68	0.77	11,708	-57.93	0.61
12	英 国	65,843	27.63	0.70	48,777	12.54	0.65	17,066	106.85	0.90
13	タ イ	57,111	273.73	0.61	56,629	296.08	0.75	482	-51.03	0.03
14	チ ェ コ	55,389	54.40	0.59	44,549	24.52	0.59	10,840	10,831.93	0.57
15	ベルギー	41,912	37.19	0.44	26,673	263.99	0.35	15,239	-34.38	0.80
16	スウェーデン	22,413	-37.83	0.24	11,696	-41.85	0.16	10,717	-32.75	0.56
17	中 国	22,363	25.85	0.24	18,923	37.69	0.25	3,441	-14.56	0.18
18	オ ラ ン ダ	21,887	80.61	0.23	3,791	-62.23	0.05	18,096	770.16	0.95
19	オーストラリア	21,602	12.55	0.23	19,145	5.89	0.25	2,457	120.94	0.13
20	フィンランド	17,059	29.97	0.18	1,654	74.41	0.02	15,405	26.51	0.81
	そ の 他	67,479		0.72	34,255		0.46	33,224		1.74

出所：CMTBA 数字は全て原文のまま掲載。

2. 主要国・地域経済動向

◆米国：製造業設備稼働率は増加(2月)

2011年2月の設備稼働率(速報値)は、全製造業で74.3%、耐久財製造業で73.5%、機械製造業で81.4%となった。

前月比で見ると、全製造業では0.2ポイント、耐久財製造業では0.7ポイント、機械製造業では0.1ポイント夫々増加している。

一方、前年同月比で見ると全製造業では4.6ポイント増加している。

米国製造業の設備稼働率月次推移



(FRB Statistical Release G.17(419)/3月17日付)

◆米国：FEIMAFE2011でAMT/USAパビリオンが先端技術を披露

AMT(米国製造技術協会)はブラジル・サンパウロ市で2011年5月23日から28日まで開催されるFEIMAFE2011展において、製造業の将来を担う技術に焦点を当てた新技術センター(ETC)を開設する。

ETCは、米国からの出展者が集まるAMT/USAのパビリオンの中にあり、MT Connect、クラウドコンピューター、マイクロマニュファクチャリングとナノテクノロジー、積層マニュファクチャリングの4つの技術を紹介している。

「ブラジル製造業に大きなインパクトを与えるであろう技術をお眼にかけたい。ETCは有益な情報源であり、この驚くべき改革を直にFEIMAFE来

場者に見ていただくことが出来る。」とAMTのビジネス開発部長のMario Winterstein氏は述べた。

MTConnectは、工作機械産業間のコミュニケーションの改善のために設けられたオープンで使用料がかからない規格である。これはIT業界で最初に開発された原理を使った工場現場での相互運用作用を育成する手段である。GE、Fanuc、シーメンスなど多くの企業がその開発と導入に参入している。

クラウドコンピューターは、外部業者にデータの管理と蓄積を頼むシステムで、インターネットを通じてエンドユーザーがアクセスできる遠隔のサーバー会社である。その必要性は、ビジネスと顧客の間で拡大しており、また製造業にも浸透して来ている。クラウドは企業に独自のサーバーの維持と更新をする負担を軽減する。その代わりにクラウドのサービス担当がそれらの業務を行なう。エンドユーザーがコンピューターの維持や多大なコストを支払うことなく幅広いコンピューター能力を活用することを可能とする。

マイクロマニュファクチャリングやナノテクノロジーは、医療、電気、航空機産業を中心に製造業で一般的になって来ている。超小型部品のマシニングや処理を含み、ナノでは100ナノメートルより小さい加工もある。この技術によって可能になった加工は、想像を超えている。

最後に、積層マニュファクチャリングは、3-Dコンピューターモデルによる薄形、横形、横断面の加工である。伝統的な減法的加工では不可能であったフレキシブルなデザインを可能にする。さらに、鋳物を作る必要がなく、製造工程を画期的にスピードアップする。洗練された少量の部品製造には理想的な技術である。

(AMTONLINE 2011年4月12日付)

◆米国：IMTS、全米2位の展示会にランクされる

米国製造技術工業協会(AMT)が2010年9月に

米国シカゴ市で6日間開催した米国国際製造技術展（IMTS）は、全米で2番目の展示会にランクされている。

IMTS 2010には8万2,411人が来場し、1,728社が参加した。

そのランキングは英国Tarsus GroupのTarsus Advon社が発表している。同社は、2010年に米国で開催された展示会を正味面積でランク付けして上位250を発表している。フルリストは下記のURLで閲覧可能となっている。www.TSNN.com/datasite

第1位にランクしたのは、米国消費者電子機器協会（CEA）の展示会である国際コンシューマー・エレクトロニクス・ショー（CES）で、第3位は米国包装機械製造者協会（PMMI）による隔年展示会である国際包装展であった。

「IMTS 2010が出展者と来場者の期待を上回ったことに喜びを感じている」とIMTSのPeter Eelman常務理事は述べている。

「全米の数あるエリート見本市のなかで第2位にランクインしたことは、IMTSおよび製造技術のインパクトと重要性をさらに確認するものである。IMTSは製造業復活の触媒として機能を果たしている」

IMTSは隔年開催で、次回は2012年9月10～15日の期間に行われる。

（AMTプレスリリース 2011年4月5日付）

◆米国：2010年の産業用レーザー出荷高37%増加

米国製造技術工業協会（AMT）によると、2010年における産業用レーザー加工機とシステムの出荷額は3億5,620万ドルであった。

産業用レーザーの販売台数は44.9%急増し、1,210台に達した。CO₂レーザーは総出荷額の88.5%を占め、その比率は2009年からほとんど変化していない。CO₂レーザーの販売台数は総出荷台数の70.2%を占めた。

レーザー加工機メーカーおよびサプライヤー 19社による報告でも、レーザーシステムの出荷台数に占

める比率は、2009年に急増した後、2010年は2008年と同水準であることが示されている。レーザーシステムの受注額は3億920万ドルだった。

「2010年の産業用レーザー加工機とシステムの出荷高が37%増加したことは、2009年の販売高が50%近くも急減したことを考えると、適度なものである」とAMTは述べている。「2011年は新技術が市場にもたらされ、ファイバーレーザーが引き続き拡大するので見通しは明るい」

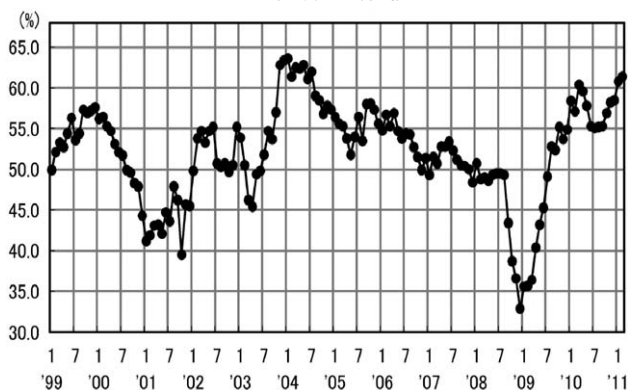
（AMTプレスリリース 2011年4月6日付）

◆米国：製造業部門、19ヵ月連続で成長(3月)

米サプライ・マネジメント協会（ISM）の購買管理指数（PMI：製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数）によると、2011年3月のISM指数（PMI）は61.2%と景況感の分かれ目である50%を上回り、製造業部門の活動も20ヵ月連続で成長した。一方、経済全体の動向はPMIが上昇・下降の分岐点41.2%を22ヵ月連続で上回り、経済成長を遂げた。

3月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「PMI60%越えが3ヶ月連続続いており、最近の製造業部門の急速な成長傾向は、3月も継続している。PMIの部品の指数は非常に好調なレベルで、第1四半期で最も力強い分野であることを示している。新規受注と生産好調の恩恵を製造業部門が受けている一方で、商品価格については懸念材料が生まれている。多くの製造業者が材料費の高騰を指摘しており、利幅に材料価格上昇

ISM 指数の推移



が影響する懸念がある。」

なお、3月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の15業種が「企業活動を拡大した」と回答している。アパレル・皮革製品、石油・石炭製品、輸送用機械、電気機器・家電製品・部品、機械類、化学製品、金属製品、コンピューター・電子製品、繊維製品、食品・飲料・たばこ製品、印刷・同関連サービス、プラスチック & ゴム製品、紙製品、家具類、雑貨。

ISMが発表した3月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項 目	2011年 3月指数	2011年 2月指数	備 考
I S M 指 数 (PMI)	61.2	61.4	2月比0.2ポイント低下。3月のPMI (61.2%) は年率換算実質GDP成長率6.5%に相当。
生 産	69.0	66.3	2月比2.7ポイント上昇。拡大の基準である50.4%を22ヵ月連続で上回った。14業種が成長を報告した。
新 規 受 注	63.3	68.0	2月比4.7ポイント低下。21ヵ月連続で増加した。14業種が成長を報告した。
受 注 残 高 (季節調整なし)	52.5	59.0	前月比6.5ポイント低下。8業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	63.1	59.4	2月比3.7ポイント上昇。長期化の基準である50%を22ヵ月連続で上回った。11業種が長期化を報告した。
在 庫	47.4	48.8	前月比1.4ポイント低下。2ヶ月連続で減少。7業種が在庫増を報告した。
雇 用	63.0	64.5	2月比1.5ポイント低下。拡大の基準である50.1ポイントを18ヵ月連続で上回った。18業種が増加を報告した。
仕 入 れ 価 格	85.0	82.0	前月比3ポイント上昇。21ヵ月連続で50%を超過。18業種が上昇を報告した。
輸 出 受 注	56.0	62.5	前月比0.5ポイント上昇。21ヵ月連続の増加。8業種が増加を報告。
原 材 料 輸 入	56.5	55.0	前月比1.5ポイント上昇。19ヵ月連続の増加。8業種が増加を報告した。

(ISM Manufacturing Report on Business 2011年4月1日付)

◆ハノーバーメッセ開幕－原発事故で「再可エネへの転換」に関心集まる

世界最大の産業見本市、ハノーバー国際産業技

術見本市(ハノーバーメッセ)が4日、開幕した。今回は世界65カ国から前回(2009年)を300社以上上回る6,500社強が出展。発表された新製品・新技術も約25%増の5,000件に達するなど、景気回復が鮮明に反映されている。日本から参加を表明した50社で地震や福島原発事故を理由に出展を取りやめた企業はなかったという。

今年の見本市の関心は持続可能なエネルギーに集まっている。福島原発の事故をきっかけに太陽エネルギーや風力発電など再生可能エネルギーの関心が高まったことを受け、これをテーマに取り上げるフォーラムやディスカッションが増えた。また、3日の開会式で挨拶に立ったメルケル首相は、「高度に工業技術の発達した日本でさえ、自然災害に伴う核の脅威を回避できなかった」と発言し、連邦政府が原発稼働期間の延長政策を凍結し、老朽原発7基の操業一時停止を決めたことの意義を強調。産業界と国民の双方に対し、再生可能エネルギーの早期の利用拡大に向けて取り組むよう呼びかけた。

今回の見本市では出展企業数が増えたばかりでなく、Schaeffler (ベアリグ)、マイクロソフト、KUKA (ロボット)、Schneider Electric (電気設備) など、他の見本市への参加などを理由にハノーバーメッセに背を向けていた企業400社以上が再び出展した。主催者ドイチェ・メッセのフォンフリッチュ社長は、同見本市が近年、サステナビリティやエネルギー効率改善技術関連のイベントとして重要性を増していることが評価されたとの見方を示した。

(dpa-AFX 2011年4月4日付)

◆独機械業界、2011年生産成長率を上方修正

ドイツ機械工業連盟(VDMA)は4日、独業界の2011年生産高成長率を従来予測の10%から14%へと引き上げた。2010年12月の業界生産成長率が大幅に上方修正されたほか、今年1月の同成長率が前年同月比23.6%増と好調だったため。VDMAのト

ーマス・リントナー会長は日本の震災被害やリビア情勢などのリスク要因を踏まえながらも、世界経済の先行きは明るいとの見方を示した。

2011年2月の業界受注高は前年同月比で実質38%増加した。国内受注が40%増え、国外も37%伸びた。特殊要因による統計上のブレが少ない3ヵ月単位の比較をみても、2010年12月～2011年2月は前年同期比で42%拡大。内訳は国内が43%増、国外が42%増だった。

(Press Release 2011年4月4日付)

◆ドイツ：ドイツ製造設備メーカー、ロシアに注目

ロシアはドイツ工作機械産業の重要輸出市場第3位にランクされ、その工作機械消費（国内生産＋輸入－輸出）は1999年実績比で8倍の約14億ユーロに達していて、工業部門最新化の巨大なニーズが製造設備メーカーに大きな事業機会を提供している。

ドイツ工作機械工業会（VDW）のMartin Kapp会長によれば、2011年の設備投資の伸びは、1.5～1.7%にとどまる欧州に対して、原料・エネルギー関連の外貨収入が潤沢なロシアでは約8%増加と予想される。

特に有望な工作機械の需要者は自動車および航空機産業で、ロシアに進出したVW社がモスクワ近郊カルーガ新工場の設備増強に取り組む一方、受託生産と組立事業で独VW社とアライアンスを組むニジニ・ノヴゴロド所在のGAZ Groupも生産能力の増強を予定している。

また、バン部門では、独Daimler社がこれもGAZ Groupと生産活動で協力しているほか、タタルスタン共和国で操業するロシアのトラック・メーカーKamaz社に出資している。

さらに米Ford社と仏Renault社もロシア製造事業を拡充している。

ロシア自動車産業は政府助成に大きく依存しているものの、経済専門家はロシア自動車市場が年率8～14%（台数ベース）で拡大し、2018年には欧州最大市場のドイツを

追いつくと見ている。

ロシアの航空機製造産業も大きな事業機会を提供していて、例えば、モスクワに本拠を置くSukhoi社が新スーパージェット100の製造に取り組んでいる。また、Airbus社がA320とA380の部品をロシアに発注している。

ロシア自動車および航空機製造産業の生産拡充、設備更新計画は最新の製造技術を緊急に必要としている。従って、ハイテク製造機器メーカーは大きな事業機会が期待できるとMartin Kapp会長は述べている。

なお、「EMO ハノーバー 2011」を主催するVDWは今年の9月21日に「EMOの注目はロシア：原料と外貨に惹かれる製造設備メーカー」と題するセミナーを主宰する。

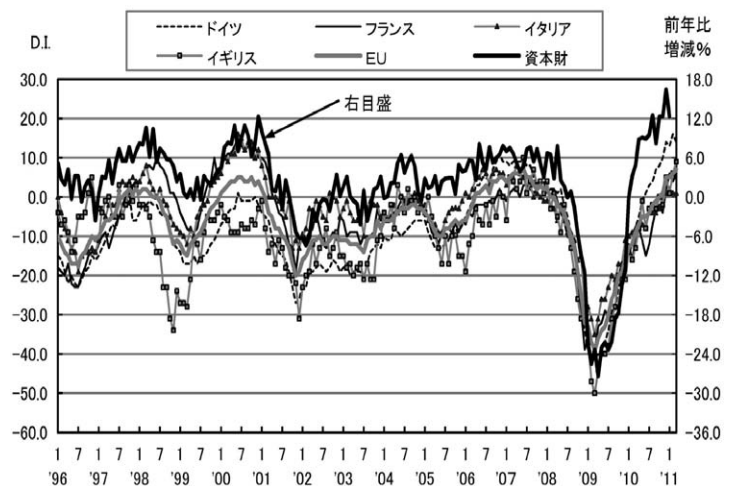
(EMO ハノーバープレスリリース 2011年4月5日付)

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(3月)

欧州委員会の発表した2011年3月のEU主要国製造業景気動向指数（D.I.）（修正後）によると、EU全体では1ポイント上昇している。国別では、イギリスが3ポイント、フランスが2ポイント夫々上昇したものの、イタリアは横ばいで推移、ドイツは2ポイント後退している。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2011

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



年1月は前年同月比で12.3%増となった。なお、2011年2及び3月の数字は未発表である。

(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

3. 工作機械関連企業動向

◆米国:大幅に改善したHurco社の2011年度第1四半期決算

対話型コンピューター制御機器とソフトウェア、コンピューター制御工作機械を提供する Hurco Companies, Inc. 社の2011年度第1四半期(2011年1月31日期末)決算は、売上高が前年同期比92%増の3,968万ドル、新規受注が前年比115%増の4,426万2,000ドル、また、収益性は前年同期が183万6,000ドルの純損失だったのに対して、今年度第1四半期には154万6,000ドルの純利益を計上するなど、大幅に改善した。

今年度第1四半期売上高の地域別内訳は、北米が前年同期比121%増の1,346万2,000ドル、欧州、同77%増の2,127万9,000ドル、アジア太平洋、同98%増の493万9,000ドルだった。

また、今年度第1四半期の新規受注は、北米、134%増の775万4,000ドル、欧州、117%増の1,372万ドル、アジア太平洋、71%増の218万1,000ドルだった。

なお、今年度第1四半期の粗利益率は29%で、前年同期の19%から大きく改善された。

Hurco社のMichael Doar 会長兼CEOは、「新規受注の動向と収益性の改善に力を得て研究開発と新製品の発売で顧客基盤の拡大に努める」と語っている。(Hurco社プレスリリース 2011年3月10日付)

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

EADS、カナダ企業買収へ

欧州航空宇宙大手のEADS(蘭スキポール)は28

日、ヘリコプター子会社のEurocopterが航空機の保守・修理を手がけるカナダのVector Aerospaceを株式公開買い付け(TOB)で買収すると発表した。サービス事業と北米市場でのプレゼンスを強化する狙い。すでに出資比率ベースで60%の株主がTOBを受け入れており、買収が成立するのは確実となっている。

Vector Aerospaceを1株当たり13カナダドルで買収する。これは25日の終値を15%上回る水準で、Vector Aerospaceの時価を6億2,500万カナダドル(約4億5,000万ユーロ)と評価した。

Vector Aerospaceは主に軍用の小型機やヘリコプターの保守・修理サービス事業を展開している。直近の売上高は5億4,500万カナダドル(約4億ユーロ)で、北米のほかアフリカ市場にも強い。

EADSは景気変動の影響が少ないサービス事業を強化する意向で、売り上げに占める同事業の割合を2020年までに25%へと引き上げる計画。また、為替リスクを緩和するために米ドル圏の事業を拡大する方針を打ち出している。

(Financial Times Deutschland 2011年3月25日付)

独エルリング・クリンガー、スイス同業を買収へ

自動車部品メーカーのエルリング・クリンガーは3月29日、スイスの同業Hug Engineeringを買収する計画を発表した。株式の過半数の買収に向けた交渉は最終段階に入っているという。取引価格については公表しないことで合意している。

Hugは定置型エンジンや商用車、建機、鉄道、船舶などの排ガス処理システムやディーゼルパーティキュレートフィルター(DPF)などを開発・生産している。2010/11年度の売上高は約4,600万ユーロとなる見通し。

エルリング・クリンガーは排ガス処理システムにHugの技術を統合し、建機などのノンロード車や商用車、定置型エンジン向けの排ガス処理システムの競争力を強化する。

(Press Release 2011年3月29日付)

インド：Ford社、生産拡大を計画

Ford社経営陣によると、Maraimalai Nagarのインド工場の生産量が限界となる可能性が現在あることから、Ford Indiaは生産拡大を検討していると言う。

Ford Indiaの社長Michael Boneham氏は、インド限定販売のFiestaの新型車の発表の後、「まもなく再投資の発表をする予定である。現在の工場を拡張させることが出来る。」と述べた。

Ford Indiaは現在年間20万台を生産、エンジン工場は3交代で25万個製造する能力がある。Boneham氏は今年末までに15万台組み立てることを目標としている。

2010年、Ford Indiaは83,887台販売し、2011年には20%増を予測している。2011年第1四半期に売り上げは29,804台であった。

同社の旧型ヨーロッパ使用Fiestaの最新型であるFigoの海外市場として50カ国を視野に入れている。

Ford Indiaは以前、生産量を増強して、2015年までに8種類の新モデルを発売すると語っていた。同社は2009年、自動車及びエンジンの生産を上げるために5億ドル投入した。現時点でインドに9億5千万ドルの投資をしている。Boneham氏は新型Fiestaを今年中旬に発売するという。

(Just-Auto Global News 2011年4月10日付)

インド：LGインドが韓国親会社の売り上げを上回る可能性

消費財メーカーのLG Electronics社は、インドの急成長と新製品投入の影響で、今後3～4年以内にインド支社の販売額が韓国国内販売を上回る可能性があるかと予測する。

インドがLG社の世界製造拠点の一つとなると同社は見ており、今後2年で生産能力を2倍にするという。LG Electronics社長でLG Electronics India取締役のSoon Kwon氏は「インド市場は今後3～4年で急成長し、収益は韓国のLG社国内販売を上回

る予測である。」と述べた。

インド支社は現在およそ35億米ドル(15,500クロネ)の売上高があり、韓国では70億ドルの販売高がある。「韓国市場は停滞しているが、インドはあらゆる業種において急成長している。」とKwon氏は言う。

今年LG Electronics Indiaは、20,000クロネの売り上げを目標にしている。

LGの携帯電話とテレビのビジネスは従来のブラウン管からLCDと薄型スクリーンに急変換しているが、この分野は家電製品に続きインドで最も成長している。

インド支社は、LG海外拠点の中でさらに重要となることが予測されることから、Kwon氏は「インドが現在韓国、中国、インドネシアに集中しているアジア市場の新たな中枢となると期待している。」と語った。

(Daily the Pak Banker 2011年4月12日付)

インド：Nano車需要拡大する

Tata社のセンセーショナルな車、Nanoが数ヶ月前の安全性に関する問題にも拘わらず生産が増加している。このため、Sanand工場は今後数ヶ月追加で生産量を増やすことにした。2011年3月の販売は、対前年同月比75%増の8,707台であった。Tata社乗用車ビジネスユニット副社長によると、Nano社にとって良い傾向であり、今後数ヶ月で生産台数は20,000台に増加する予定であると言う。現在のSanand工場の生産は、2交代制で月12,000台であるが、1台につき25万ルピーの生産能力を、50万ルピーに上げることが可能である。生産量がピークに達したら、需要に応じる案を現在検討中である。またさらにNanoの需要が高まれば、Pantnagar工場でも対応することも考慮に入れている。現在のSanand工場はフレキシブルな生産力を保有するという。

Tata社は国内市場で、Nano車に関する引き合いを月110,000件受けている。新規で車を購入するバ

イヤーをさらに獲得することを目指している。Nano発表時は、およそ80%の顧客が2台目の車として、またそれ以外が初めて車を購入する顧客であった。

現在はその割合が50:50となり、Tata社はこの比率を新規購入者80%まで引き上げたいと考えている。他のメーカーと同様に、部品と材料の費用の増加にも拘わらず、当面は価格を据え置く予定である。Tata社自体も他の車種では36,000ルピーほど価格を上げているが、Nanoは例外であり収益は厳しい状況であるが、価格は押さえるという。(HT Syndication 2011年4月11日付)

カナダ：オンタリオ州、航空宇宙分野に投資

カナダのオンタリオ州は、80種の新規職種と49の現存する職業の支援となることから、Mississauga Aerospace社が新製品を市場に投入することを支援することとした。

ニュースリリースによると、オンタリオ州は、航空機エンジンメーカーのPratt & Whitney Canadaが新技術、装置、R&D、製品範囲の拡大のため一特に新しい電気エンジン技術のために新規投資をすることを援助する。これにより燃費と廃棄ガスそして航空機が環境に与える影響を減少させることが出来る。新製造工程は廃棄物を減少させ、燃費を上昇させる。

「先端技術を支援することはオンタリオ州にとって優先課題である。Pratt & Whitney Canadaのような企業と協力することは、製造部門の競争力を維持し、その分野の先端を我が州が行くことを後押しすることとなる。オンタリオ州の航空機産業

は、Mississauga社のような優秀な人材を含む22,000人の雇用を生み出している。」とSandra Pupatelo経済、貿易振興部長は述べた。

「長期的な技術改革への取り組みにより、我が州はカナダの航空機産業の主要都市となっている。Pratt & Whitney Canadaは、2014年までにオンタリオ州に1億4000万ドルの革新的なプロジェクトの新規投資を行なう。この投資により、製品改革、発展、緑化技術、従業員トレーニング、工程改良などを推進し、我が州が航空機産業における世界のリーダーでいることに貢献する。P & WCはオンタリオ州の航空機産業の主要な地位を今後も占め、新規雇用を生み続けるであろう。」とPratt & Whitney Canadaの技術担当副社長のWalter Di Bartolomeoは述べた。

(Professional Service Close-up 2011年4月12日付)

韓国：SamsungはメキシコでのHD生産を増強

韓国電機大手のSamsung社は、今年メキシコのティワナ工場でHDと接続したテレビの生産を増加させる。同社によると今年、対前年比13.2%増の1200万台生産する予定である。Samsungはティワナに2箇所ある新工場に1億米ドルの投資をする。

この数字に含まれるのは、Samsungのコンピューター用スクリーンである。Samsungの生産は地元での課題にもかかわらずコンスタントに伸びている。2008年、同社は年間800万台製造をし、2009年には940万台製造、そして2010年には1,060万まで増加した。

(Normans Media Limited 2011年4月13日付)

5. 日工会外需状況(3月)

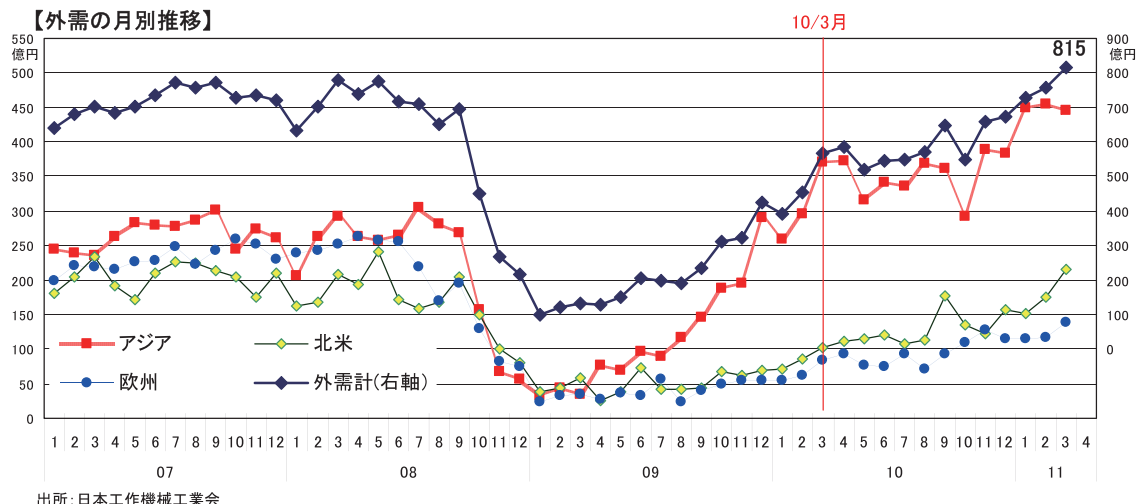
外需【3月分】

814.5億円（前月比+7.7% 前年同月比+44.0%）

外需総額

- ・前月比 5カ月連続増加 前年同月比 17カ月連続増加
- ・初めて800億円超となり、史上最高額を記録
- ・主要3極はアジアのみ減少

【外需の月別推移】



外需【3月分】

主要3極別受注

①アジア

- ・3カ月連続で450億円近い高水準
- ・中国は自動車、電気機械で減少、3カ月ぶりに300億円を下回るも依然高レベル。韓国は自動車向けが寄与
- ・その他アジア（インド、ASEAN等）は5カ月連続前月比増加。11カ月ぶりの90億円台

②欧州

- ・欧州計は2008年10月（130.2億円）以来29カ月ぶりの130億円台
- ・EU主要国も前月比増加

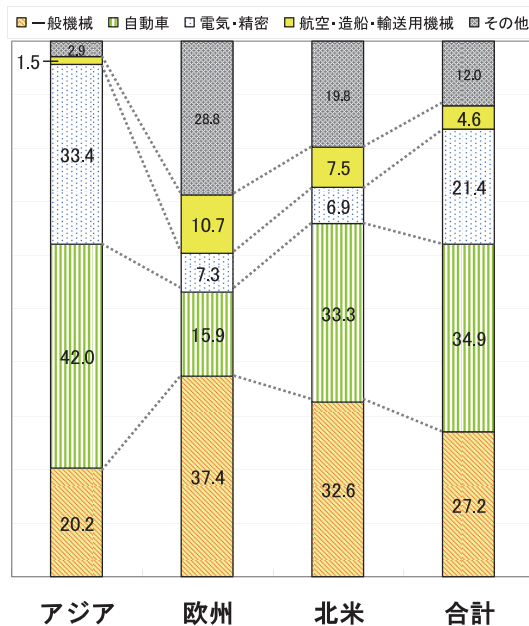
③北米

- ・受注額は2008年9月（205.2億円）以来30カ月ぶりの200億円台
- ・すべての国で前月比増加
- リーマンショック前の水準に回復

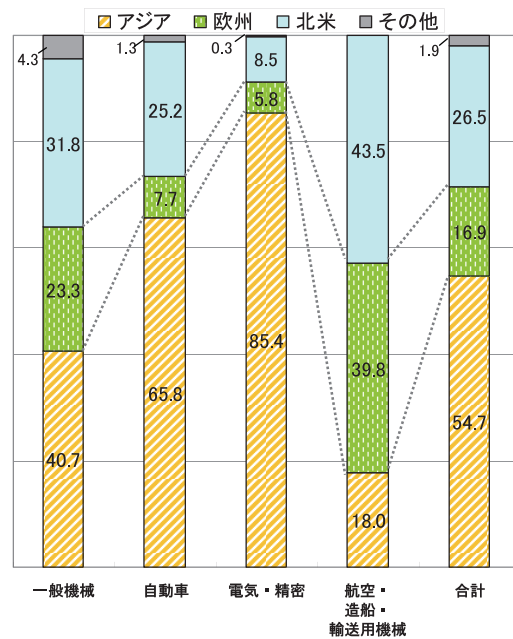
業種	受注額 (億円)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
アジア	445.5	△2.0 3カ月ぶり減少	+20.0 18カ月連続増加
東アジア	348.8	△6.1 3カ月ぶり減少	+28.3 18カ月連続増加
韓国	63.6	+69.3 2カ月連続増加	+77.2 17カ月連続増加
中国	265.9	△16.8 2カ月連続減少	+20.8 18カ月連続増加
その他アジア	96.8	+16.5 5カ月連続増加	△2.6 18カ月ぶり減少
インド	29.0	+64.3 3カ月ぶり増加	+46.3 5カ月連続増加
欧州	137.7	+17.5 2カ月連続増加	+64.4 15カ月連続増加
ドイツ	50.3	+16.6 2カ月連続増加	+108.1 15カ月連続増加
北米	215.8	+23.1 2カ月連続増加	+111.9 15カ月連続増加
アメリカ	184.1	+21.4 2カ月連続増加	+92.2 15カ月連続増加
外需計	814.5	+7.7 5カ月連続増加	+44.0 17カ月連続増加

外需【3月分】

機種別・主要3極別受注構成

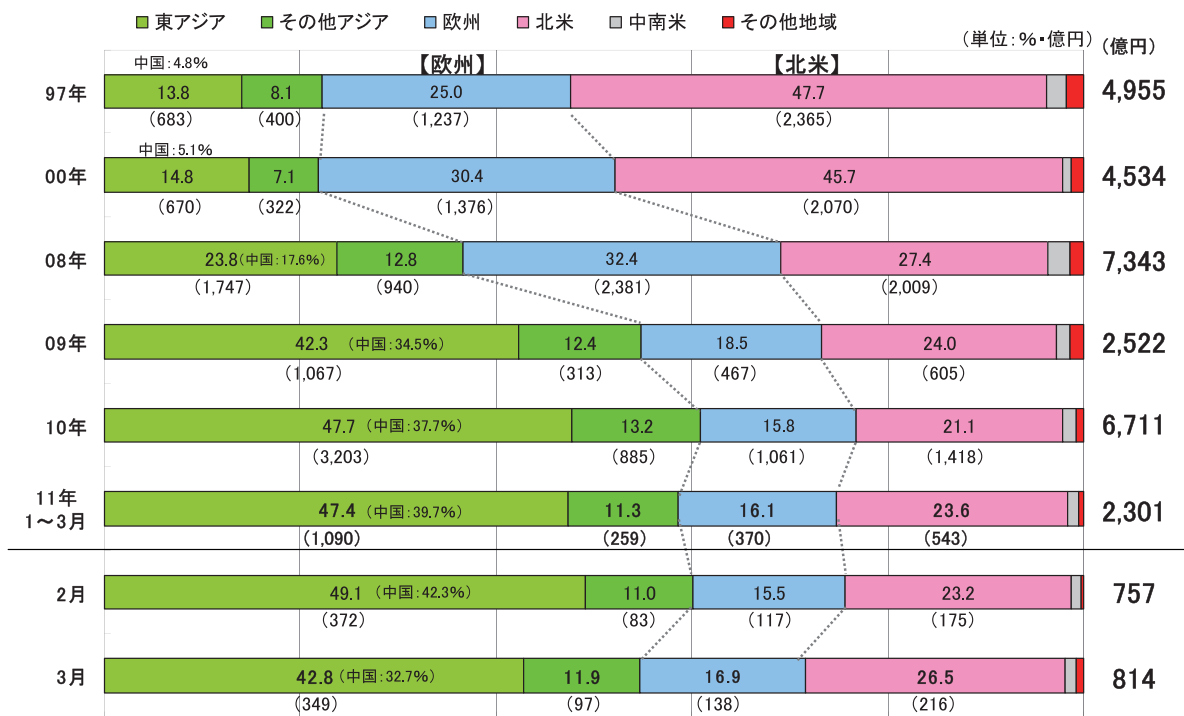


出所: 日本工作機械工業会



出所: 日本工作機械工業会

受注外需 地域別構成比の推移



出所: 日本工作機械工業会